

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2020年6月8日

東京都作業部会確認年月日 定額未滿

(契約変更に伴う再確認 令和3年3月26日)

事業名 オーバーレイ期間中の警備

案件名 IBC/MPCにおける大会期間外警備の業務委託について(2020年10月~2021年3月)

(2021年4月~9月)

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	本件は、延期に伴う追加経費であり、その取り扱いは、現時点で未定である。 (令和3年3月1日契約変更に伴う追記) ・延期に伴う追加経費のうち、コロナ対策以外の経費については、大枠の合意に基づくこととされ、これに基づいたものとなっている。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	組織委員会が大会警備を執行することとしており、本業務も一元的に実施することが合理的かつ効率的である。	
経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	必要性 IBCは、組織委員会およびOBSにて設置済みの工作物・各種設備に対する保護、警戒が必要であり、セキュリティ対策の継続が必須となるため、現時点で手続きを進める必要がある。 (令和2年9月7日 契約変更に伴う追記) IBCは、2020年度内の施設借用が確定しているため、2020年10月以降についても、必要最小限の警備体制の維持が必要となる。 (令和3年3月1日 契約変更に伴う追記) OBSが再来日し、本格化するBump-inに伴い、セキュリティ対策の継続が必須となるため、現時点で手続きを進める必要がある。	

	効率性	<p>発注にあたっての警備配置の考え方として妥当な人員の配置であり、効果的である。</p> <p>また、入退場口におけるアクセスコントロール（関係者および関係車両）および巡回警備による不審者・不審物対策を実施するが、延期に伴い警備体制を見直し、効率性が図られていることを確認した。</p> <p>（令和2年9月7日 契約変更に伴う追記）</p> <p>OBSの再来日は来年2月15日予定であるところ、再来日までの期間については、現行の必要最小限の警備体制を維持し、OBS作業再開後は、再びBump-in、SoftOpeningへと段階的に警備体制を強化していくことで効率性が図られている。</p> <p>（令和3年3月1日 契約変更に伴う追記）</p> <p>再びBump-in、SoftOpeningへと移行していくため、4月以降、段階的に警備体制を強化していくことで効率性を図っている。</p>	
	納得性	<p>入退場口を1か所に限定したことで、警備ポスト数を大幅に縮減し、必要最小限の警備体制となっており、経費の削減に努めている。</p> <p>（令和2年9月7日 契約変更に伴う追記）</p> <p>2021年2月15日以降は、OBSが日本に滞在していた2020年2月と同レベルの警備体制を構築する。</p> <p>また、更なる削減や経費抑制が可能かどうか検討するため、3カ月毎の契約更新・延長とする。</p> <p>（令和3年3月1日 契約変更に伴う追記）</p> <p>段階的に警備体制を強化していくことで、必要最小限の警備計画となっており、経費削減に努めている。</p>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<p>延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図る。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p> <p>（令和3年3月1日 契約変更に伴う追記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・V5予算の範囲内 ・引き続き、経費が最小限のものとなるよう抑制・削減に取り組む。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。